



News Letter

No. 27

2008年3月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

レイバーネット2008 総会に寄せて

たたかいを広げる「情報」と「文化」

松原 明 (レイバーネット副代表)

レイバーネットの呼びかけで、2007年9～12月に展開したユニオンYes! キャンペーンは、さまざまなイベントをやりきって大きな成功を収めた。2001年にスタートしたレイバーネットは、「ウェブサイト報道・例会・レイバーフェスタ」の3つが活動の軸だったが、07年のキャンペーンの取り組みはそれをグレードアップし、一歩外に広げるものになった。それまでのフェスタ3分ビデオは「出品することに意義あり」の感もあったが、2007フェスタの3分ビデオやユニオンチューブでは、映像が現実の「たたかいの武器」としてはっきり登場した。それは、格差社会の進行に伴う非正規労働者のユニオン運動(ワーキングプアの反撃)を、レイバーネットが受け止め、併走してきた結果だと思う。

3分ビデオ「闘いの自画像」は象徴的作品だった。この作品は、ユニオンチューブの講習会に参加したタクシー運転手の田中昭さん(通称=あっきゃん)が、初めて作りフェスタで発表したが、それは、会社の人権侵害を告発するだけにとどまらなかった。職場でビデオ撮影をすること、それをネット配信することそのものが、会社に大きな圧力となり要求の実現につながった。他にも、ヘラルド朝日労組の松元千枝さんが、高裁敗訴・マスコミ完全無視のなかで、自らのメディアを駆使することで展望を見いだそうとしているケース。請負代金不払い問題を3分ビデオ「ヒッチハイク詐欺」で描き、支援の輪を広げた正木俊行さんのケース。首都圏青年ユニオン・美容師ユニオンが、会社との団交シーンを暴露し世論を喚起することで、あたりまえの残業代支払いを実現させた例などある。いまや「ネット」と「映像」は、少数でチカラの弱い非正規労働者にとって、最高の

武器のひとつなのだ。

今まで労働運動が一番苦手だった分野が「情報」「文化」だったが、レイバーネットは創立以来、そこにチカラを入れてきた。試行錯誤の中から、だれでも配信できるウェブシステムをつくり、昨年ついに「動画投稿サイト・ユニオンチューブ」を立ち上げることができた。また映像だけでなく、音楽・マンガなどの分野でも新しい動きが生まれた。2007年は、さまざまな試みの「種」が蒔かれた年。2008年は、その「種」を「芽」に、そして「芽」から「花」に育てていく年にしたいものだ。

『ユニオンつって、生きさせる!』好評発売中

定価 500円 (A5版 64P)

ユニオンYes! キャンペーン・キックオフ集会の記録。労働組合に関係ないと思っていた人が、組合に入って、会社と対等に交渉し、生き生きと働く報告と雨宮処凛さんの対談を収録。一斉労働相談キャンペーンやレイバー映画祭など同キャンペーンの活動も紹介する。非正規労働者の新しい仲間づくりとそのネットワークを感じることができるブックレットだ。申込先: 郵便振替 00160-8-610046 高幣真公 またはレイバーネット日本へ



レイバーネット日本2008 総会 & イベント

2007年はレイバーネットの呼びかけで「ユニオンYes! キャンペーン」を展開し、成功を収めました。3月の総会では、その総括をしっかりとやることで次につなげたいと思います。また「首都圏青年ユニオン」「東部労組」「ガテン系連帯」「フリーター労組」をはじめ、新しいユニオン運動が台頭しています。総会の特別イベントでは、その分野で積極的発言を続けている木下武男さんをゲストに、「新しいユニオン運動の可能性」を探っていきたいと思います。会員・非会員問わず、ぜひご参加ください。

とき: 2008年3月8日(土) 13:30 ~ 17:00 (13時開場)

ところ: 飯田橋SKプラザ地下ホール (JR飯田橋駅東口7分)

参加費: 会員無料(一般500円)

第一部 総会 13:30 ~ 14:50

活動報告とディスカッション

第二部 特別イベント 15:00 ~ 17:00

講師: 木下武男

(『格差社会に挑むユニオン』著者)

* 関連映像も流す予定。

* 会員外でも参加できます。

* 懇親会あり。



ユニオンYes!キャンペーン、次章へ 「労働組合って何ですか?」

土屋トカチ (キャンペーン事務局長)

「ユニオンYes!キャンペーン」は、「レイバーフェスタ2007」をもって、キャンペーンとしてはひとまず終了しました。2007年7月のプレ集会を皮切りに「キックオフ集会」や動画投稿サイト「ユニオンチューブ」、「レイバー映画祭」、「グラフィックデザイン・コンテスト」、「街頭一斉労働相談」、「レイバーフェスタ2007」、「ブックレット/ユニオンつって生きさせる!」発刊等の企画やイベントを進めてきました。進行は、レイバーネット日本が軸となって始めましたが、準備会を重ねていく毎に様々な労働組合や団体、個人の方からご賛同・ご協力をいただきました。この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

「もう終わりなの?」「2008年は何もやらないの?」という嬉しい声を沢山頂いています。もちろん、次章をはじめます。否、一緒にはじめましょう。3月のレイバーネット総会で、次章のユニオンYes!を提案させていただき、計画を練っていきたいと思っています。

次章へつなげるヒントとして、ユニオンYes!キャンペーン中に、私がとても驚き、悲しくなった言葉があります。「労働組合って何ですか?」発言です。「街頭一斉労働相談」の際、道行く若者から聞いた言葉でした。私は愕然としました。これでは、いくら大声で「ユニオンYes!」と言っても、全く通じないですね。中高生でも退屈しないような、明るく楽しく「労基法」、「労働組合」を知らせる手段が重要だと感じています。柔らかいアイデアのご提案を、よろしくお願い致します。



写真 上 レイバーフェスタ2007 (12月15日 東京ウィメンズプラザ)

写真 中 同 大ディスカッション

写真 左 ユニオンYes!キャンペーン キックオフ集会の対談 右: 雨宮処凛 左: 土屋トカチ

写真 下 一斉労働相談 (11月23日) 秋葉原

UnionTube

<http://video.labornet.jp.org/>

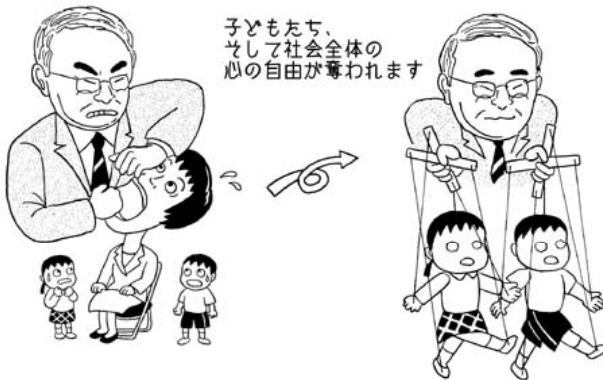
希望は、ユニオン。

Union
Yes!



「君が代」解雇を阻止しよう！

教員たちの次は…



漫画：壺花花



2月14日、根津さんは阻止線を張る都教委職員の前で「わたしをクビにしないで」「教育長に会わせて」と必死に訴えた。

レイバーネットの会員でもある根津公子さんは「君が代不起立」を理由に今回の卒業式で「クビ!」の危機に直面している。文字通り3月は、国家主義が民主主義かをめぐる石原都教委との「決戦」となった。3月1日(または2日)には「朝日新聞」全国版に「意見広告」が掲載される。そして10日には都庁前 one day アクション、24日の根津さん卒業式と

続く。ユニオンチューブでは逐一動画レポートを行っており、アクセスも急増中だ。フランスでも支援グループが立ち上がった。「君が代」解雇を阻止するために、あなたの力を寄せてください。なお、新聞意見広告にはあと100万円が不足しており「解雇させない会」では、カンパを呼びかけている。

< 新入会員紹介 >

一人でたたかう男 「あっきゃん」

田中昭 (タクシー運転手)

3分ビデオ『闘いの自画像』を作った田中昭です。「あっきゃん」と呼んで下さい。タクシーの運転手をしています。私が勤める会社には制服がありますが、靴に関する規定はこれまでありませんで



した。しかし会社は「これからは黒い靴を履くように」と一方的に強制してきました。それまで白い靴を履いてきた私は「仕事に黒い靴を履けというなら靴代を出せ」と会社に要求してひとりで闘ってきました。これを私は「白い靴闘争」と名づけました。その様子をビデオ化したのが冒頭のビデオです。ところがじつをいうと私、制服そのものが嫌いなんです。なので、今後は制服文化=全体主義との闘いに切り替えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

業種をこえた居心地の良さ

松元千枝 (ヘラルド朝日労組)

朝日新聞社と労働裁判をしている松元千枝です。「ユニオン Yes! キャンペーン」からずるとレイバーネットの会員になったようなかんじですが、業種や思想信条を超えて労働問題について議論できる場所として居心地の良さを感じています。また、社会問題の情報発信源としてもありがたく思っています。

す。去年実感した「ユニオン Yes! キャンペーン」の縛りの緩やかさに触発されて、現在朝日新聞が偽装請負問題で告発した松下やキヤノンの仲間たちとつながっていきこうと動き出したところです。今後は、毎年のレイバーフェスタだけでなく、同じような議論の場をより多く持ち、問題提起だけでなく解決にも結び付けていけるようなイベントを期待します。



農業問題からアプローチしたい

畠山勝巳 (秋田農協)

秋田の片田舎で地元の農協に勤めて30年になります。そんな関係で農業問題をフィールドワークとしております。現在、ワーキングプアや最低賃金などが問題になっていますが、稲作を主体とする農家は現在の米価をもとに労賃を算出すると、時給250円の世界になります。結局それが先の参議院選での自民党の大敗につながったものと考えられます。日本の農業というのは、この新自由主義の世界では真っ先に切り捨てられる産業だと思われるのですが、こんな実態にあっても農家そのものが声を上げないというジレンマがあります。それをどのようにして打ち破っていくかが、私のテーマとして存在します。中国製餃子があれだけの騒ぎになるんですから、農業の実態にもっともっと関心を持ってほしいのではないと思う今日この頃です。このほかにも国労闘争団を守る秋田の会の事務局も担当しております。

3月に反貧困フェスタ2008開催

～貧困をどう伝えるか

反貧困の運動は、湯浅誠さんや河添誠さんが中心になって「たすけあいネットワーク」を立ち上げるなど、活発な運動が続いている。きたる3月29日(土)10～16時、東京・神田一橋中学校を借り切って「反貧困フェスタ」が開催されることになった。参加費500円。会場には屋台・フリーマーケット・相談コーナーも出る。レイバーネットはこのフェスタで「反貧困映画祭」の部門を担当し、貧困を考える映像上映を行う。



日本初のレイバー映画祭へ
24日は大好評だった

レイバーフェスタ、外へひろがる

レイバーフェスタの活動が外に広がっている。フェスタに参加した人から、あるいはクチコミで、上映や出演依頼が相次いでいる。2/2 仙台のフリーター労組結成集会では「ピケをこえなかった男たち」「木下3分ビデオ」を上映。3/6には、池袋労政事務所主催の労働セミナーで木下昌明さんが「映像の力を考える」をテーマに講演を行うことになった。3/9「おんなたちの祭り」では「笑いのおけいこ」など6本の3分ビデオ上映が決まり、3/28の全港湾関東地本の春闘決起集会では「音楽構成劇」関連のイベントが行われることになった。ぜひ、あなたのところでもフェスタの「出し物」を活用してください。問い合わせはレイバーネット事務局(TEL03-3530-8590)へ。

映画「明さんの塩」の解説をする木下昌明さん



新しい連載コラムがスタート

郵政の免職処分とたたかい勝利した名古屋哲一さんの「連載エッセイ」が今年1月に終了したが、3月より新たな連載がウェブでスタートする。筆者は「特急だから」ことCさんと、コラムの筆名は「黒鉄好(くろがねこう)」。鉄道ファンの思いをこめてつけたペンネームだという。タイトルは「レイバーコラム・時事寸評」、鋭い社会時評を期待したい。



7月のG8サミットにむけて

7月に北海道・洞爺湖でG8サミットが開催される。G8に参加する国々は世界人口の14%しかない。しかしそこで世界のあり方が決められている。G8は「新自由主義」政策を推進し、戦争・貧困・環境破壊など、世界に様々な問題を引き起こしている。これに対抗すべく日本の諸団体が「G8サミットを問う連絡会」「G8メディアネットワーク」などを立ち上げ、活動を開始した。レイバーネットも積極的に関わっていく予定。「G8メディアネットワーク」では世界から3分ビデオの募集なども計画している。



「不屈の民」を歌った神奈川
「フィエスタ2007」レイバナー



「前を向いて歩こう」などのG8(寿)の熱唱は感動の涙を誘った

お詫び

ニュースレター26号(前号)の記事(レイバーフェスタ2007 OSAKA)のなかで、「『若め』の女性」という表現がありましたが、これについて関係者から「非常に不愉快」「性差別的表現ではないか」との指摘を受けました。ご指摘はその通りであり、ノーチェックでそのまま掲載したことをお詫びするとともに、今後の編集に活かしていきたいと思っております。(編集部)

レイバーネット日本の会員になりませんか

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。
年会費 3,000円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578